

1 【ドアが開く音】

2 「ありや、先輩じゃないっすか。こんな遅くまで残ってどうしたんですか？」

3 「…ひゃー、こんな遅くまで居残り練習すか！さすが先輩、お疲れ様っす。」

4 「あ、私ですか？」

5 「あはは…今日の寝坊の件で部室掃除を少々…」

6 「いや！でも違うんですよ！アラームはセットしたんですけど午前と午後を間違えちゃって…」

7 「けど先輩に会えたのはラッキーでした、ひひひ…」

8 「せーんぱーい、せっかく会えたんだしちょっと話していきましょーうよー」

9 「えー良いじゃないですかー先輩もうすぐ卒業ですし、もっと話しましょうよー」

10 「あ！ほらほら掃除したら面白いもの見つけたんですよ」

11 【手錠の音 ちゃり…的な】

12 「…じゃじゃーん！この手錠、知ってますか？」

13 「一見ただ小道具なんですけど、この手錠で繋がれた異性は付き合えろとかなんとか…」

14 「…え、知らないんですか？女子部員の中では結構有名なんですよ？」

15 「ほらほら、よかったら試しに私と繋いでみます？」

16 「ひひひ、冗談ですよ」

17 「先輩赤くなっちゃって、かわいいわ」

18 「すみません！冗談ですって！ちよつとからかっただけじゃないですわ」

19 「もうたかが迷信如きで動揺するなんて」

20 【手錠をかけるおと】

21 「へちよつと照れながら」ほ、ほくら、こんな手錠、所詮ただのおもちやですよ」

22 「へ少し引き気味に」おおう…先輩めっちゃ焦るじゃないですか…」

23 「大丈夫ですって、このくらいすぐに外れますよ」

24 「…ん？あれ…ちよつと待ってくださいね」

25 「へ焦りながら」あ、あれ…？意外としっかりして…」

26 「あ、あはは…先輩すいません、外れなくなっちゃいました…」

27 「いやーちがうつす！自力で外れないってだけで鍵さえあればすぐにでも！」

28 「…まあその鍵が手元にないんですけどね。」

- 29 「多分倉庫にあると思うんですけど…」
- 30 「あはは…ほんとすいません、少しだけお付き合いください…」
- 31 「っすよね…これじゃあトイレにも行かないっすからね…」
- 32 「それじゃあ鍵を取りに…んんっ…」
- 33 【衣服が擦れるSE】
- 34 （ありゃ、そういうえしばらくトイレに行ってなかったような…）
- 35 「んっ…んんっ…」
- 36 「…いや、なんでもないっす、行きましようか。」
- 37 （意識したらさらに…これはちょっといそがないと…）
- 38 〈時間経過4秒ほど〉
- 39 【歩くSE】
- 40 「はあ…はあ…んんっ…」
- 41 （あ、あれ、思ったよりトイレに行きたいかも…）
- 42 「んんっ…んんっ…ふう…」
- 43 「…あっ、着きましたね、先輩。」
- 44 「いや、私としてはもう少しくっついていたいところでしたけどね…」
- 45 「あはは…すいませ〜ん、調子乗りました〜」
- 46 「それじゃあ早いところ見つけてっ…」

47 【扉を開けるSE】

48 「えーと、確かこの辺に」

49 「んんっ…あれ？おかしいな」

50 「はあ…はあ…んんっ…」

51 「せ、せんぱーい、どこに置いてあったか忘れちゃいました…」

52 「うう…すいません…確か青色の鍵なんですけど…」

53 「手分けして探して…って繋がれてるから無理でしたね。」

54 「んんっ…じゃあこの棚と一緒に探す感じで…」

55 〈時間経過、4秒ほど開ける〉

56 「はあ…はあ…んんっ…」

57 「そ、そろそろやばいな…」

58 「あっ…んんっ…あう…」

59 「うう…そわそわしちゃう…先輩にはバレてないといいつけど…」

60 「はあ…はあ…んんっ…」

61 「あれ、これってもしかして…」

62 「先輩！見つけたっす！」

63 「あはは…お騒がせしました…けどこれでようやく…！」

64 【鍵、ガチャガチャ音】

65 「ようやく…ようやく…あれ？」

66 「なんで…鍵が入らない…」

67 「…っていうかよく見たら鍵の形、全然違うつすね…」

68 「…すみません、これじゃなかったみたいっす…」

69 「また探し直して…はう…！」

70 「うっ…これ以上は…」

71 「はあ…はあ…んっ…」

72 「せ、せんぱい、その…言いにくいんですけど…んっ…」

73 「ちょ、ちょっとトイレの方がピンチでして…何か別の方法をとれ

ると…」

74 「うう…すみません…今回は完全に私が悪いです…」

75 「…なるほど！図工室の道具ならなんとか壊せそうですね。」

76 「んっ…！す、すみませんがちょっと急ぎ目に…」

77 「はあ…はあ…んっ…」

78 「(はずう…もう限界でもじも動いちゃうし…)」

79 「…あれ？先輩、どうしましたか？」

80 「…いや、なんでもないっす。」

81 「(先輩もそわそわしてる…ひよっとして…)」

82 「はう…！あっ…んっ…」

- 83 (人のことを心配してる場合じゃない…今は漏らさないように力を
入れて…)
- 84 〈時間経過4秒ほど開ける〉
- 85 【歩くSE】
- 86 「はあ…！はあ…！はう…！」
- 87 「や、やっとなつた…んんっ…！」
- 88 「あっ…！やばっ…！」
- 89 【衣服、おちびりSE】
- 90 「んんっ…！くう…！」
- 91 (い、今ちょっと出て…)
- 92 〈咳払いして誤魔化す〉「んんっ、な、なんでもないっす…」
- 93 「それじゃあ何か壊せるものをとりに…」
- 94 【扉が開かないSE】
- 95 「あれ…閉まってる…」
- 96 「…ていうかこの時間だったら普通しまってますよね…」
- 97 「せんぱい！なんできづかなかったんですか！」
- 98 〈後半恥ずかしがるようにもごもごとく〉「うっ…だって私は我慢し
てたから頭が回らなくて…」
- 99 「はう…！もう我慢が…！」

100「んんっ…！もう押さえないと…」

101「…ちょ！先輩までもぞししないでください！！繋がってるんだから勝手に動くと…！」

102「あっ…やば…体制が…きゃあ！」

103【転倒SE】

104「はう…！せんぱい…！どいてください！膀胱がお腹を刺激すると…あっ…！」

105【おちびりSE】

106「あっ…！いやっ…！漏れちゃって…はう…！」

107「と、ま、れ…！あう…！」

108「はあ…！はあ…！くう…！」

109「な、なんとか止まった…」

110（最悪…今出しちゃったこと、きっと先輩にはバレて…）

111「察したように▽」…あっ。」

112（そっか…先輩も我慢してたから多分…）

113「んんっ…すいません、私のせいでこうなってるのに…文句言っちゃって…」

114「はあ…はあ…その…提案なんすけど…このままトイレに行きませんか…？」

115 「んんっ…私、もう正直限界で…先輩も多分ピンチですよ
ね…？」

116 「あぐう…！このままだと2人とも漏らしちゃいますし、この方
法しかないかと…」

117 「…すいません、ありがとうございます…」

118 「…そ、それで順番なんですけど…私が先に行くことって…」

119 「お願いします！もう私ほんとに漏れそうで…！」

120 「せんぱいはまだちょっと余裕がありそうっていうか…男性の人
の方が我慢できるとか…」

121 「わ、私はもうほんとのほんとに限界なんです！さっきだって
ちょっと…」

122 「あっ…！いや、なんでもないっす！」

123 「はぐう…！そうこうしてる間にまた…！」

124 「くううう…！んんっ…！はう…！！」

125 「ふう…！ふう…！んんっ…！」

126 「この時間が惜しいですし…ここは公平にじゃんけんで決めませ
んか…？」

127 「…はい、じゃあ勝った方が先に行けるってことで…いきます
よ…」

128 「じゃーんけん…ぽい！」

129 【ルート分岐、男子トイレ】

130 「うう…負けたっす…」

131 「先輩…なるべく早めに頼みます…」

132 「はあ…はあ…くう…！」

133 「男子トイレに入るのもちよつと緊張するっす…」

134 「あっ…！やばっ…！」

135 【おちびりSE】

136 「うぐう…！ふう…！ふう…！」

137 「トイレが目の前だと…体が反応して我慢が…！」

138 【おちびりSE】

139 「あっ…！またっ…！」

140 「くう…！も、もう…！」

141 「先輩！早く！早く済ませてください！」

142 「はあ…！はあ…！んんっ…！」

143 「…うまく脱げない…？も…！」

144 【ベルト、衣服SE】

145 「はい、これで…ひゃっ！」

146 「いえ、なんでもないっす…」

147 (せ、せんぱいの…ちょっと見えちゃった…)

148 「はぁ…！はぁ…！んんっ…！」

149 【放尿SE】

150 「あっ…！今この音は…！」

151 【おちびりSE】

152 「あっ…！だめ！ほんとに！ほんとに！」

153 【衣服SE】

154 「あっ…！抑えてるのに…！んんっ…！」

155 「先輩！まだ出し終わらないんですか…！」

156 「はやくしてください…じゃないと私…！」

157 「ふう…！ふう…！くううう…！」

158 【放尿が弱くなるSE】

159 「はぁ…！はぁ…！終わりました？終わりましたよね？」

160 【おちびりSE】

161 「んんっ…！あっ…！また出て…！」

162「こゝ、ここでできるわけじゃないですか！早く女子トイレに…！」

163【歩くSE】

164「おしっこ…おしっこ…おしっこ…！」

165「くうう…なんで女子トイレはちよつと離れてた場所に…！」

166「もう…歩くので精一杯…ふぐう…！」

167【衣服、おちびりSE】

168「あっ…！やっ…！ああ…！」

169「あぐう…！だめ…もう動けないっす…」

170「あう…！女子トイレは間に合わない…ならせめて男子トイレで…」

171「…っ！っていうか男子トイレにも個室はあったのに…先輩が変なこと言っから…！」

172「あと少し…あと少し…」

173【おちびりSE】

174「あと少し…」

175【おちびりSE強】

176「あぐう…！あっ…も、もうむりい…」

177【お漏らしSE弱】

178 「あっ…！あっ…！ああ…！」

179 〈脱力していくように〉「あ、ああ、ああ…」

180 【お漏らしSE】

181 「あう…！むりっす…とまんないし…動けない…」

182 「はあ…！はあ…！あぐう…！んんっ…！はう…！」

183 〈少し解放感があるように〉「あっ、あっ、ああああ…」

184 「あう…んんっ…はあ…うう…」

185 【お漏らしSE終了】

186 「はあ…はあ…ぐずっ…」

187 〈以下少し泣きながら〉「ぜんぱい…私…間に合わなかったっす…」

188 「先輩の服にもちよつかかちやって…ぐずっ…」

189 「そもそも私が手錠をかけたからこんなことに…えぐっ…」

190 「ごめんなさい…ごめんなさい…」

191 「えぐっ…ぐずっ…えぐっ…ぐずっ…」

192

193

194

195 【後日談】

196「いやゝまさかこの手錠がきっかけで先輩と付き合うことになるなんて…」

197「たはは…個人的にはちょっと複雑な気持ちっすけどね…」

198「って漏らしたとか直接言わないで欲しいっす！当時はかなり落ち込んだんですからね！」

199「大体ですねゝ先輩だってちょっと漏らしてたの私、知ってますからね。」

200「バレバレでしたよゝひひひゝ」

201「…うぐう、そりゃ元はと言えば私が悪いっすけどゝ」

202「まあまあ！結果可愛い彼女と付き合えたんでセーフっすよ！ひ

ひひ！」

203「これからもよろしくっすよ！せゝんぱい！」

204【ルート分岐女子トイレ】

205「ひひひ…ごめんなさい先輩、勝っちゃいました。」

206「すいませんけどもうちょっとだけ我慢してほしいっす。」

207 「んんっ…！けど私も限界…早くトイレに…」

208 「はぁ…！はぁ…！んんっ…！」

209 「せんぱい…！気持ちはわかるっすけど女子トイレの前で躊躇し
ないでください！」

210 「この時間なら誰もいないので…んんっ…早く入りましょう！」

211 「はぁ…！はぁ…！これでようやく解放され…はう…！」

212 【おちびり小】

213 「あっ…！やばっ…油断してちょっと…」

214 「うぐう…！出ちゃう…出ちゃう出ちゃう…！」

215 「はやく個室に…んんっ…！」

216 【個室を強く閉める音】

217 「漏れる…漏れる漏れる漏れる…！」

218 「先輩！もぞもぞしないでください！下着がうまく下ろせなて…
あっ…！」

219 【おちびり強】

220 「はうう…！あとちょっとだけでないで…！」

221 「先輩！今だけじっとしてて…んんっ…！」

222 【衣服を脱ぐ音】

223 「はぁ…！はぁ…！ぬ、脱げた！あっ…！んんっ…！」

224 【放尿Se】

225 へ開放感のあるようにV「あっ…！出る…！出てる…！

はぁ……！」

226 「あっ…あっ…ああぁ…ま、まにあった…んんっ…」

227 「んんっ…ずっと我慢してたから…いっぱい…はう…」

228 「あっ…んんっ…あう…んんんっ…」

229 「はぁ…はぁ…はぁ…はぁ…ふう…ぜ、ぜんぶでた…」

230 へ我に帰るようにV「…あっ」

231 （しまった…先輩の前でこんなだらしない声を…）

232 （うう…けど緊急事態だったし、漏らすよりは…）

233 へ恥ずかしがりながらV「んんっ…お待たせしました…ふくので

ちよつとまつててください…」

234 「大体…片耳でも塞ぐとかしたらどうなんですか、先輩はデリカ

シーが…って先輩！？」

235 「そのシミ…もしかして…」

236 へ以下急ぐようにV「あと少しだけ耐えてください！すぐに準備

をしますから！

237 【おちびりSe】

238 【衣服Se】

239 「はぁ…！はぁ…！手錠のせいで下着が…！」

240 「んっ…これで…よし！」

241 「お待たせしました！急いで先輩も！」

242 【おちびりSE強】

243 「先輩も…えっ…」

244 【お漏らしSe】

245 「うそっ…漏らしちゃって…えっ…」

246 「あっ…えっと…その…」

247 「んっ…仕方ないっすよね…私も限界でしたし…」

248 「…私は気にしないので、全部だしちゃってください。」

249 （ズボンからおしっこが溢れて…こんなに我慢してたんっすね…

先輩…）

250 へ気まずそうにV「んっ…んんっ…」

251 「…お、終わりましたか？」

252 【一度弱くなり、再度お漏らしSe】

253 「えっ…まだでるの…？」

254 「…いや！なんでもないっす！出し切っちゃってください！」

255 （すごい量…足元にちよっと水たまりができて…）

256 「…こ、こんどこそ終わりっすかね…？」

257 「…あ、あくその、仕方ないっすよね、トイレの音を聞いたら我慢できないっていうか…」

258 「あ、謝らないでほしいっす！そもそも原因は私ですし…ほんとにすいません…」

259 「もし順番が逆だったら私も我慢できてたかわからないですし…あはは…」

260 (あの先輩が泣きそうになってる…私の前で…おしっこをもらして…)

261 「…とりあえず出て、簡単に拭きましょう。掃除用具に多分何か…」

262 「その後は一回部屋に戻って着替えましょう、それで大丈夫ですか？」

263 「了解です！ちょっと待ってくださいね…」

264 (うわゝ先輩、まじ凹みしてる…しかも原因私だし…)

265 (…けど漏らしてる時の先輩、ちょっとかわいかったな…)

266 (いやゝ我ながら最低だけど良いものを見させていただいたというか…)

267 「…いや、なんでもないっす、この後のことを考えてただけで…」

268 「大丈夫っす！今日のことは二人だけの秘密です！」

269 「だから今は私に頼ってください！せんぱい！」